

活発化している。昭和50年度において、文化祭等総合文化行事を開催した市町村数は、41で、全市町村の約二分の一に達している。

近年、公民館の整備が進みそれに伴って、住民の公民館での文化活動や行事参加が盛んになっている。県内 229館において、昭和51年度に行われた文化関係行事は、1,314件で、参加者は、約35万5千人である（表5-1-3）。

部門別にみると、生活芸術に関する行事（講習、講演、研修、発表等、以下同じ。）が

415件で最も多く、音楽、美術行事がそれに次いでいる。また、参加者数をみると、生活芸術、音楽、美術、舞踊、文学の順に多く、なかでも、民踊、民謡、書、盆栽、華道、合唱への参加が多く、歴史研究の活動や行事への参加が多いのも目だっている。

1館当たりの行事数を、地域別にみると、県南が10.2件で最も多く、会津の 3.7件が少ない。平均では、1館当たり 5.7件になっている。

これら公民館や教育委員会の文化行事の多くは、習作、練習または、それらの発表、研修の場として行われており、公民館は、地域住民が芸術や文化活動に参加する場として適切な存在となっている。

また、昭和52年度より、文化庁は、地方文化振興のため市町村に対し「参加する文化活動費補助」を行い、県も、これを助成奨励している。

従って、今後は、すべての地域において、多くの住民が文化活動に参加できるように機会と場の提供に努めるとともに、公民館等の文化行事を促進して、住民の参加を奨励し、更に「文化のふるさと」事業や「参加する文化活動費補助」事業を拡充して、特色ある地域文化を育成することが必要であろう。

表5-1-2 「文化のふるさと」指定の推移 (単位：市町村)

部門	年度	48	49	50	51
合 唱	川内村	—	○	○	—
	梁川町	—	—	○	○
文 芸	只見町	—	○	○	矢吹町
美 術	棚倉町	—	○	○	喜多方市
舞 踊	—	—	浪江町	○	○
	—	—	船引町	—	○
民俗芸能	—	—	飯館村	○	○
	—	—	南郷村	○	○
演 劇	会津若松市	—	○	○	—
指定総数		4	8	9	7
新規指定数		4	4	1	2

注：「文化課調査」(昭51)による。